

商品名 アマリール0.5mg錠 医薬品基本情報

薬効	3961 スルフォニル尿素系製剤	一般名	グリメピリド錠
英名	Amaryl	剤型	錠
薬価	10.40	規格	0.5mg 1錠
メーカー	サノフィ	毒劇区分	(劇)

アマリール0.5mg錠の効能・効果

2型糖尿病

アマリール0.5mg錠の使用制限等

1. インスリン依存型糖尿病、若年型糖尿病、重症ケトosis、糖尿病性前昏睡、糖尿病性昏睡、ブリットル型糖尿病、重篤な肝機能障害、重篤な腎機能障害、重症感染症、重篤な外傷、手術前後、胃腸障害、嘔吐、下痢、類薬で過敏症の既往歴、本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. 低血糖又はその恐れ・疑い、脳下垂体機能不全、副腎機能不全、栄養不良状態、飢餓状態、不規則な食事摂取、食事摂取量不足、激しい筋肉運動、過度のアルコール摂取、腎機能障害<重篤な腎機能障害を除く>、肝機能障害<重篤な肝機能障害を除く>	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

アマリール0.5mg錠の副作用等

1. 低血糖症状、脱力感、高度空腹感、発汗、動悸、振戦、頭痛、知覚異常、不安、興奮、神経過敏、集中力低下、精神障害、意識障害、痙攣、汎血球減少、無顆粒球症、溶血性貧血、血小板減少、AST上昇、ALT上昇、Al-P上昇、肝機能障害、黄疸、再生不良性貧血	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
2. 低血糖、脱力感、高度空腹感、発汗	記載場所	重大な副作用
	頻度	5%未満
3. 便秘、腹痛、過敏症、光線過敏症、頭痛、味覚異常、CK上昇、浮腫、倦怠感、脱毛、一過性視力障害	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明
4. 白血球減少、貧血、AST上昇、ALT上昇、Al-P上昇、LDH上昇、γ-GTP上昇、BUN上昇、嘔気、嘔吐、心窩部痛、下痢、腹部膨満感、発疹、そう痒感、めまい、血清カリウム上昇、血清ナトリウム低下、電解質異常	記載場所	その他の副作用
	頻度	5%未満

5. 低血糖

記載場所	使用上の注意
頻度	頻度不明

6. 重篤かつ遷延性の低血糖、低血糖、巨大児、催奇形性作用、意識障害、心臓・血管系障害、死亡、白内障

記載場所	使用上の注意
頻度	頻度不明

アマリール0.5mg錠の相互作用

1. 薬剤名等：糖尿病用薬

発現事象	低血糖症状	投与条件	-
理由・原因	血糖降下作用が増強	指示	慎重投与

2. 薬剤名等：プロベネシド

発現事象	低血糖症状	投与条件	-
理由・原因	腎排泄抑制により血糖降下作用が増強	指示	慎重投与

3. 薬剤名等：クマリン系薬剤

発現事象	低血糖症状	投与条件	-
理由・原因	肝代謝抑制により血糖降下作用が増強	指示	慎重投与

4. 薬剤名等：サリチル酸剤

発現事象	低血糖症状	投与条件	-
理由・原因	血中蛋白との結合抑制、サリチル酸剤の血糖降下作用により血糖降下作用が増強	指示	慎重投与

5. 薬剤名等：プロピオン酸系消炎剤

発現事象	低血糖症状	投与条件	-
理由・原因	血中蛋白との結合抑制により、これらの消炎剤は蛋白結合率が高いので、血中に本剤の遊離型が増加して血糖降下作用が増強	指示	慎重投与

6. 薬剤名等：アリール酢酸系消炎剤

発現事象	低血糖症状	投与条件	-
理由・原因	血中蛋白との結合抑制により、これらの消炎剤は蛋白結合率が高いので、血中に本剤の遊離型が増加して血糖降下作用が増強	指示	慎重投与

7. 薬剤名等：オキシカム系消炎剤

発現事象	低血糖症状	投与条件	-
理由・原因	血中蛋白との結合抑制により、これらの消炎剤は蛋白結合率が高いので、血中に本剤の遊離型が増加して血糖降下作用が増強	指示	慎重投与

8. 薬剤名等：β-遮断剤

発現事象	低血糖症状	投与条件	-
理由・原因	糖新生抑制、アドレナリンによる低血糖からの回復抑制、低血糖に対する交感神経症状抑制により血糖降下作用が増強	指示	慎重投与

9. 薬剤名等：モノアミン酸化酵素阻害剤

発現事象	低血糖症状	投与条件	-
理由・原因	インスリン分泌促進、糖新生抑制により血糖降下作用が増強	指示	慎重投与

10. 薬剤名等：クラリスロマイシン

発現事象	低血糖症状	投与条件	-
理由・原因	併用薬剤が他のスルホニルウレア系薬剤の血中濃度を上昇	指示	慎重投与

11. 薬剤名等：サルファ剤

発現事象	低血糖症状	投与条件	-
理由・原因	血中蛋白との結合抑制、肝代謝抑制、腎排泄抑制により血糖降下作用が増強	指示	慎重投与

12. 薬剤名等：クロラムフェニコール

発現事象	低血糖症状	投与条件	-
理由・原因	肝代謝抑制により血糖降下作用が増強	指示	慎重投与

13. 薬剤名等：テトラサイクリン系抗生物質

発現事象	低血糖症状	投与条件	-
理由・原因	インスリン感受性促進により血糖降下作用が増強	指示	慎重投与

14. 薬剤名等：シプロフロキサシン

発現事象	低血糖症状	投与条件	-
理由・原因	-	指示	慎重投与

15. 薬剤名等：レボフロキサシン水和物

発現事象	低血糖症状	投与条件	-
理由・原因	-	指示	慎重投与

16. 薬剤名等：フィブラート系薬剤

発現事象	低血糖症状	投与条件	-
理由・原因	血中蛋白との結合抑制、肝代謝抑制、腎排泄抑制により血糖降下作用が増強	指示	慎重投与

17. 薬剤名等：アゾール系抗真菌剤

発現事象	低血糖症状	投与条件	-
理由・原因	肝代謝抑制（CYP2C9阻害）、血中蛋白との結合抑制により血糖降下作用が増強	指示	慎重投与

18. 薬剤名等：シベンゾリンコハク酸塩

発現事象	低血糖症状	投与条件	-
理由・原因	インスリン分泌促進によりと考えられる血糖降下作用の増強	指示	慎重投与

19. 薬剤名等：ジソピラミド

発現事象	低血糖症状	投与条件	-
理由・原因	インスリン分泌促進によりと考えられる血糖降下作用の増強	指示	慎重投与

20. 薬剤名等：ピルメノール塩酸塩水和物

発現事象	低血糖症状	投与条件	-
理由・原因	インスリン分泌促進によりと考えられる血糖降下作用の増強	指示	慎重投与

21. 薬剤名等：アドレナリン

発現事象	嘔気、嘔吐、呼気のアセトン臭、高血糖症状、脱水	投与条件	-
理由・原因	末梢でのブドウ糖の取り込み抑制、肝臓での糖新生促進により血糖降下作用が減弱	指示	注意

22. 薬剤名等：副腎皮質ホルモン

発現事象	嘔気、嘔吐、呼気のアセトン臭、高血糖症状、脱水	投与条件	-
理由・原因	肝臓での糖新生促進、末梢組織でのインスリン感受性低下により血糖降下作用が減弱	指示	注意

23. 薬剤名等：甲状腺ホルモン

発現事象	嘔気、嘔吐、呼気のアセトン臭、高血糖症状、脱水	投与条件	-
理由・原因	腸管でのブドウ糖吸収亢進、グルカゴンの分泌促進、カテコールアミンの作用増強、肝臓での糖新生促進により血糖降下作用が減弱	指示	注意

24. 薬剤名等：卵胞ホルモン

発現事象	嘔気、嘔吐、呼気のアセトン臭、高血糖症状、脱水	投与条件	-
理由・原因	コルチゾール分泌変化、組織での糖利用変化、成長ホルモンの過剰産生、肝機能の変化等によりと考えられる血糖降下作用の減弱	指示	注意

25. 薬剤名等：利尿剤

発現事象	嘔気、嘔吐、呼気のアセトン臭、高血糖症状、脱水	投与条件	-
理由・原因	インスリン分泌の抑制、末梢でのインスリン感受性の低下により血糖降下作用が減弱	指示	注意

26. 薬剤名等：ピラジナミド

発現事象	嘔気、嘔吐、呼気のアセトン臭、高血糖症状、脱水	投与条件	-
理由・原因	血糖値のコントロールが難しい	指示	注意

27. 薬剤名等：イソニアジド

発現事象	嘔気、嘔吐、呼気のアセトン臭、高血糖症状、脱水	投与条件	-
理由・原因	糖質代謝の障害による血糖値上昇及び耐糖能異常により血糖降下作用が減弱	指示	注意

28. 薬剤名等：リファンピシン

発現事象	嘔気、嘔吐、呼気のアセトン臭、高血糖症状、脱水	投与条件	-
理由・原因	肝代謝促進（CYP誘導）により血糖降下作用が減弱	指示	注意

29. 薬剤名等：ニコチン酸

発現事象	嘔気、嘔吐、呼気のアセトン臭、高血糖症状、脱水	投与条件	-
理由・原因	肝臓でのブドウ糖の同化抑制により血糖降下作用が減弱	指示	注意

30. 薬剤名等：フェノチアジン系薬剤

発現事象	嘔気、嘔吐、呼気のアセトン臭、高血糖症状、脱水	投与条件	-
理由・原因	インスリン遊離抑制、副腎からのアドレナリン遊離により血糖降下作用が減弱	指示	注意

31. 薬剤名等：フェニトイン

発現事象	嘔気、嘔吐、呼気のアセトン臭、高血糖症状、脱水	投与条件	-
理由・原因	インスリンの分泌阻害により血糖降下作用が減弱	指示	注意

32. 薬剤名等：ブセレリン酢酸塩

発現事象	嘔気、嘔吐、呼気のアセトン臭、高血糖症状、脱水	投与条件	-
理由・原因	ブセレリン酢酸塩投与により、耐糖能が悪化	指示	注意

33. 薬剤名等：アンジオテンシン変換酵素阻害剤

発現事象	低血糖	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『 DIR 』

Copyright© 2005-2025 e-pharma All rights reserved.